

第3期 県央県南広域環境組合地球温暖化防止実行計画 点検・評価

本組合は、事務及び事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、「第3期県央県南広域環境組合地球温暖化防止実行計画(以下「実行計画」という。)」を策定し地球温暖化対策に取り組んでいます。

実行計画第5章3.に基づき点検を実施し、令和2年度(基準年度)と令和4年度の温室効果ガス(CO₂)排出量の点検・評価を公表します。

1. 結果

	R2年度(基準年度)	R4年度実績	増減量	増減率
CO ₂ 排出量	27,464 t-CO ₂	28,621 t-CO ₂	1157 t-CO ₂	4.2%

温室効果ガス(CO₂)排出量を基準年度と比較し、組合全体で**4.2%増加**しました。

2. 点検

(1) 各施設温室効果ガス(CO₂)排出量

施設名	R2年度(基準年度)	R4年度実績	増減量	増減率
県央県南クリーンセンター	26,948 t-CO ₂	28,165 t-CO ₂	1,217 t-CO ₂	4.5%
東部リレーセンター	65 t-CO ₂	55 t-CO ₂	-10 t-CO ₂	-15.4%
西部リレーセンター	41 t-CO ₂	30 t-CO ₂	-11 t-CO ₂	-26.8%
余熱利用施設	356 t-CO ₂	322 t-CO ₂	-34 t-CO ₂	-9.6%
用水ポンプ場	53 t-CO ₂	47 t-CO ₂	-6 t-CO ₂	-11.3%
合計	27,464 t-CO ₂	28,621 t-CO ₂	1,157 t-CO ₂	4.2%

* 四捨五入等により合計値が合わない場合があります。

(2) 要因別温室効果ガス(CO₂)排出量

項目	単位	R2年度(基準年度)		R4年度実績		差		排出量増減率	排出割合
		使用量	排出量(t-CO ₂)	使用量	排出量(t-CO ₂)	使用量	排出量(t-CO ₂)		
揮発油(ガソリン等)	kℓ	2	4	1	3	0	0	-12%	0%
灯油	kℓ	0	0	0	0	0	0	--	0%
軽油	kℓ	6	16	3	8	-3	-8	-49%	0%
A重油	kℓ	0	0	0	0	0	0	--	0%
液化石油ガス(LPG)	t	0	0	0	0	0	0	-3%	0%
液化天然ガス(LNG)	t	2,898	7,833	3,095	8,365	197	532	7%	29%
電力	千kWh	12,067	4,151	12,426	3,678	359	-473	-11%	13%
一般廃棄物焼却量(非エネルギー起源)	t	5,580	15,457	5,980	16,565	400	1,108	7%	58%
合計			27,464		28,621		1,157	4%	100%

* 四捨五入等により合計値が合わない場合があります。

3. 評価

液化天然ガス(LNG)

・ 令和4年度は、天災(落雷等)に伴う停電が増加したことで、炉の操作が停止したことにより、炉の復旧作業や炉の操作等に必用なLNG量が増加しました。

電力

・ ガスエンジン(1基)の長期的な故障が発生し、通常操作の4基運転が可能な日数減により、発電量が低下しました。

また、電力使用量が増加し、CO₂排出量が減少したことについては、九州電力(株)の実排出係数が基準年度より下がったことによるものです。

一般廃棄物焼却量(非エネルギー起源)

・ ごみ処分時に二酸化炭素を大量に排出する、廃プラスチック類が年間約400t増加しそれに伴い排出量が増加しました。

その他

・ 他の項目については、基準年度比より削減出来ました。

4. 今後の組合の取り組み

地球温暖化の原因となる代表的な温室効果ガス、二酸化炭素(CO₂)。

日本各地で猛暑日が増え、記録的な暑さが続く一方、豪雨による土砂災害・水害が発生しているように、地球温暖化による気候変動は世界でも深刻な自然災害を起こしています。

2020年10月政府は、2050年までに温室効果ガスの排出を実質「ゼロ」にする「カーボンニュートラル」の実現を目標に挙げています。

この目標達成は、決して簡単なものではありません。

当組合は、第3期地球温暖化防止実行計画において、CO₂排出量の削減目標を年平均1%(計画期間:5年)としています。

私たちも、地球に住む一員としての自覚を持ち、CO₂削減を実践し「未来に美しい地球を残す。」ことを念頭に置き取り組みます。

